

# (山村活性化支援交付金)

【北海道浦幌町(旧浦幌村)】

## 若い力を未来につなげる地域一丸でのプロジェクト (ハマナス化粧水、野菜加工品、体験ツアー)

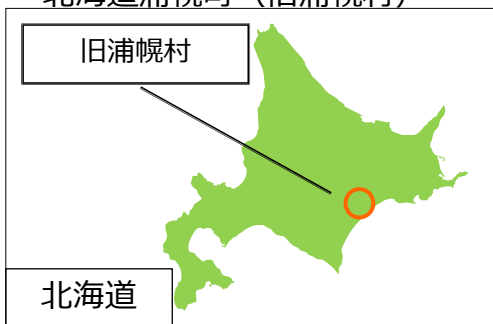
### 取組のポイント

- ◆子ども達が夢と希望を抱けるまちを目指す「うらほろスタイル」の考えをベースに、地域の親子との関わりによる商品開発や若手農家らの起業などに発展
- ◆町の花「ハマナス」を使った化粧品、地域野菜の「白花豆・人参」等を使った加工商品の開発及び販売促進
- ◆この地域の魅力を体験できる付加価値を付けた観光ツアーを、地域のワークショップを通じて企画し、開催

### 地区の概要

#### ◆ 位置

北海道浦幌町(旧浦幌村)



#### ◆ 活用した地域資源

ハマナス、地域野菜、野鳥(バードウォッチング)等

#### ◆ 事業実施主体

浦幌町ふるさと資源利活用推進地域協議会

#### ◆ 主な取組団体等

(株)ciokay(化粧品販売業者)  
(株)FF工房(食品加工業者)  
浦幌町、観光協会等

#### ◆ 事業実施期間

R2~R4

### 取組の特色

#### 地域資源の調査や付加価値向上等の取組

- ◆開発商品(化粧品)のパッケージは親子写生会の絵を基にしたデザインを採用
- ◆若手農業者らで、地域野菜の加工食品開発を食の専門家を招聘して進めつつ、開発商品の製造・流通・販売を担う新会社を設立
- ◆宿泊施設開設に併せて地域でWS開催。農作業、林業体験や野鳥観察ツアーを企画・開催



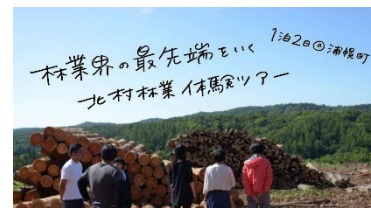
【親子写生会】



【地域野菜を使った商品】  
(白花豆・人参・馬鈴薯)

#### 地域資源の消費拡大や販売促進等の取組

- ◆SNS・専門誌などで広く商品やツアーを紹介
- ◆販売サイトの構築や東京で行われた商談会に参加し新規の顧客を獲得
- ◆全身化粧水はサステナブルコスメアワード2021 審査員賞 受賞し販売額の向上に貢献



【体験ツアーの広報】



【受賞した化粧水】

### 取組の成果

- ◆地域資源を活用した商品の開発 6品(全身化粧水、白花豆のスープ、ニンジンのピューレ等)
- ◆化粧品、観光・体験ツアーの販売額 8,900千円(R1) → 15,550千円(R3) ※対前比175%
- ◆体験・観光ツアー及び新規開設施設の宿泊客 20名(R1) → 550名(R3) ※対前比2750%

### 取組のポイント

- ◆ 日本で唯一広大な漆林を有する地域であり、国産漆の需要が高まる中、漆原木の資源調査、計画的な植栽・適切な管理方法等の検証を行い、漆の安定供給に向けた取組を実施。
- ◆ 漆関連産業の担い手（漆掻き職人や塗師、木地師等）の育成を行うとともに、文化財以外の需要掘り起こしのため、漆の木の活用や漆器等の商品開発、浄法寺漆のブランド確立、販路の拡大に取り組んだ。

### 地区の概要

- ◆ 位置  
岩手県二戸市



- ◆ 活用した地域資源  
漆
- ◆ 事業実施主体  
二戸市
- ◆ 主な取組団体等  
二戸市、浄安森林組合、  
岩手県浄法寺漆生産組合 等
- ◆ 事業実施期間  
H29～R元

### 取組の特色

#### 地域資源の調査や付加価値向上等の取組

- ◆ 漆原木の資源調査を行うとともに、安定的な生産に向け、苗栽培試験、モデル林での植栽等を行い、生育状況や管理方法を検証
- ◆ 漆器の生産体制構築や技術伝承のため、木地加工技術等の研修、漆掻きのマニュアル作成を実施



【LED光源による苗の生育調査】



【木地工房での研修】

#### 地域資源の消費拡大や販売促進等の取組

- ◆ 市内での漆の体験イベントや首都圏等での展示実演販売を通じて、漆器の販路拡大に取組
- ◆ 漆の普及啓発のためのパンフレットを作成



【イベント展示のようす】  
(新宿：よこぐも神楽坂)



【浄法寺漆の小さな伝記】  
(パンフレット)

### 取組の成果 (取組前 → 取組後)

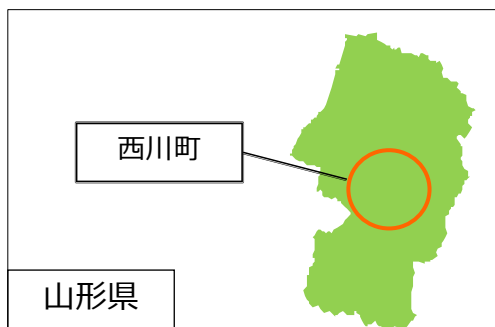
- ◆ 漆出荷量 935kg → 1,487kg (R1実績) ※対前比159%
- ◆ 漆製品販売額 1,700万円 → 2,540万円 (R1実績) ※対前比149%
- ◆ 漆関連産業の担い手の増加 (木地師 1 名、塗師 2 名 (市内の漆器展示・販売施設) )

取組のポイント

- ◆ 町の特産である山菜やきのこの生産量の確保（栽培実験や町民等を対象にした栽培知識、技術の取得のための研修実施）とこれらを加工した新商品開発
- ◆ 直売所やイベント等での山菜やきのこの開発商品の販売促進等により直売所等での販売額増加
- ◆ 未利用資源であった地ビール搾りかすの有効活用による商品開発

地区の概要

- ◆ 位置  
山形県西村山郡西川町



- ◆ 活用した地域資源  
山菜、きのこ、地ビール搾りかす（未利用資源）
- ◆ 事業実施主体  
西川町
- ◆ 主な取組団体等  
JAさがえ西村山西川支所  
西川町飲食店会 等
- ◆ 事業実施期間  
H30～R2

取組の特色

地域資源の調査や付加価値向上等の取組

- ◆ 露地での株養成等を行い、タラノメの促成栽培実験や耕作放棄地等を再活用するためのネマガリダケ等の試験的な栽培を検討
- ◆ 市場調査を行い、消費者のニーズにあった山菜やきのこの加工商品を開発



【きのこ栽培講習会】



【山菜・きのこ栽培推進】

地域資源の消費拡大や販売促進等の取組

- ◆ 県内・仙台圏のイベントでの販売促進PR活動、飲食・小売業者等向けにメニュー開発
- ◆ 廃棄されていた地ビール搾りかすを豚の飼料にして、地ビール豚を開発。この加工品（ハム等）を道の駅や町内飲食店等で販売



【飲食メニューの開発】



【商品開発  
(月山筍パスタ)】

取組の成果

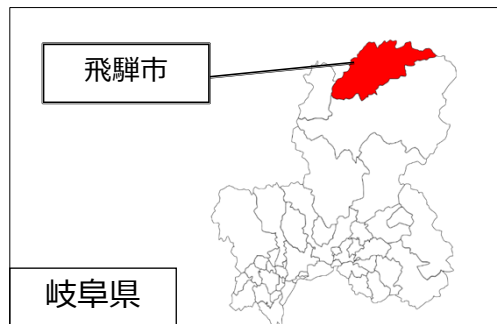
- ◆ 山菜きのこ関連の新商品数 13品（わらびを使用した漬物、筍の粉末を練り込んだパスタ等）
- ◆ 地ビール豚加工品 3品（ハム、ソーセージ、味噌漬け肉）
- ◆ 山菜きのこ直売所・道の駅販売額 25,012千円（H29実績） → 29,241千円（R2実績）

取組のポイント

- ◆ 地域資源としての森林と広葉樹に再度光を当て、伐採から製材、商品開発、製造・販売までを一貫して地域内で行う「広葉樹活用プラットフォーム」の構築に向けて、広葉樹材のストック確保、人材育成、商品開発等を実施。
- ◆ 広葉樹材を使った付加価値の高い製品を開発・販売。商品開発段階からクリエイター等の外部人材と積極的な関係性を築くことで受注機会を創出するとともに、独自性の高い取組を全国へ発信し、交流・関係人口の増加にも寄与。

地区の概要

- ◆ 位置  
岐阜県飛騨市



- ◆ 活用した地域資源  
森林資源 (広葉樹)
- ◆ 事業実施主体  
飛騨市
- ◆ 主な取組団体等  
広葉樹のまちづくり円卓会議、  
(株)飛騨の森でクマは踊る、  
ひだ木フトプロジェクト
- ◆ 事業実施期間  
H29～R1

取組の特色

地域資源の調査や付加価値向上等の取組

- ◆ 人材育成を目的としたスイスのフォレスターによる「天然林施業研修会」を開催
- ◆ 通常チップにしかない小径広葉樹の積極搬出により安定的なストックを確保し、木工職人等が活用できる仕組みを整備



【スイス・フォレスターによる研修会】



【天然林施業と小径材搬出の様子】

地域資源の消費拡大や販売促進等の取組

- ◆ 市内木工作家等の作り手と連携し、小径広葉樹材を使った新たな商品開発及び販売を進める「ひだ木フト」プロジェクトを展開
- ◆ 取組を全国に伝え、市外の関係者（主に広葉樹の使い手）との新たな関係性をつくる「広葉樹のまちづくりツアー」を開催



【ひだ木フトプロジェクト小径材による商品群】



【森と地域の在り方を考える広葉樹のまちづくりツアー】

取組の成果 (取組前 → 取組後)

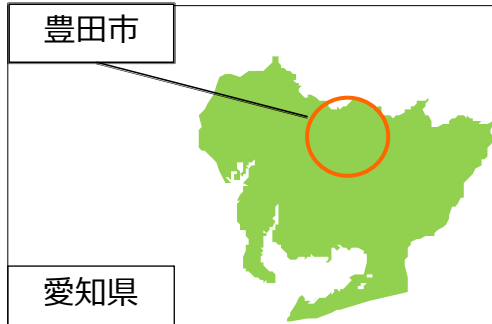
- ◆ 飛騨市産材を活用した新商品の開発 8点 (玩具、食器、時計等)
- ◆ 木製品の加工販売事業者の売上額 5百万円 → 55百万円 (H30実績) → 109百万円 (R1実績)
- ◆ 林業にかかる雇用増加人数 (素材生産者) 7人 (森林組合による雇用)

## 取組のポイント

- ◆ 地域材へのニーズ・マーケットを意識した商品開発や市内施設（子育て支援センター等）への地域材利用のコーディネート提案・施工等を行うための担い手育成等
- ◆ 豊田市産材の需要拡大のため、市民向け、行政職員や民間企業向け各種勉強会の開催、会員企業等と共同で商品開発や展示会・イベント出展を行い、地域材PRを徹底
- ◆ 会員（96者）向けの情報誌「ウッディーラジャーナル」の作成、配信。新規開発商品の木製グッズのECサイト等の体制整備による販売促進

## 地区の概要

- ◆ 位置  
愛知県豊田市



- ◆ 活用した地域資源  
豊田市産木材
- ◆ 事業実施主体  
一般社団法人ウッディーラー豊田
- ◆ 主な取組団体等  
林業・木材産業事業者、豊田森林組合、デザイン事務所、建築設計事務所 等
- ◆ 事業実施期間  
H30～R2

## 取組の特色

### 地域資源の調査や付加価値向上等の取組

- ◆ マーケットを意識し、徹底的なターゲットエイミングのもとに商品開発（保育用パーテーション、木製チェア、御朱印帳等）
- ◆ 市内施設（子育て支援センター等）への木材利用コーディネート提案・施工業者紹介



【開発した御朱印帳】



【市内施設コーディネート事例】

### 地域資源の消費拡大や販売促進等の取組

- ◆ 市民向け森林ツアーや木材メンテナンス勉強会、行政職員や民間企業向けの木材活用術勉強会等、地域材のPR活動
- ◆ 展示会・イベントへの出展（年4回）
- ◆ 取組実績・情報誌の作成、配信（年2回）
- ◆ EC体制の確立



【展示会出展の様子】



【森林ツアーの様子】

## 取組の成果

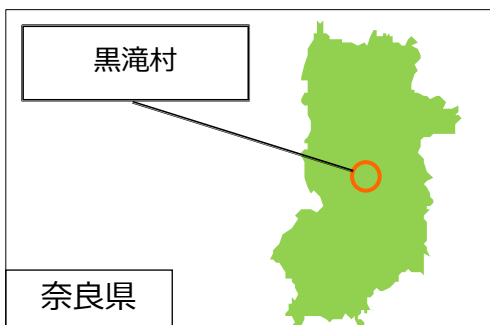
- ◆ 豊田市産材を活用した新商品の開発 2品（H29）→14品（R2末）
- ◆ 豊田市産材ブランド流通額 0千円（H29）→67,345千円（R2）

### 取組のポイント

- ◆ 継承が危ぶまれていた村の伝統工芸（吉野杉透かし彫り及び水組木工）の継承者育成（5名）。
- ◆ 「木工集団スギイロ」を立ち上げ、伝統技術を用いた新商品開発や「黒滝村ブランド」の確立・普及
- ◆ 村内事業者と共同で商品開発を進めるほか、細かなニーズに柔軟に対応して製品受注
- ◆ オリパラ公認ショップや大都市圏のインテリアショップとの契約等、積極的な販路開拓

### 地区の概要

- ◆ 位置  
奈良県吉野郡黒滝村



- ◆ 活用した地域資源  
伝統と技、吉野材

- ◆ 事業実施主体  
黒滝村

- ◆ 主な取組団体等  
黒滝村森林組合・年輪工房  
スギイロ・山口木工店

- ◆ 事業実施期間  
R1～R3

### 取組の特色

#### 地域資源の調査や付加価値向上等の取組

- ◆ 黒滝村産業の掘り起こし、地域事業者から聞き取り調査を実施
- ◆ 伝統工芸「透かし彫り工芸品」「くろたき水組木工品」技術を工芸士が若者に指導中



【地域産業の調査】



【人材育成】  
伝統工芸品「技」の継承

#### 地域資源の消費拡大や販売促進等の取組

- ◆ 首都圏等市場調査を経て、伝統工芸を活用した新商品の開発を実施
- ◆ 商談会・展示会において積極的に販路開拓を行った結果、オリパラ公認ショップや東京駅にあるインテリアショップと契約



【新商品開発】  
透かし彫り



【商談・販路開拓】

### 取組の成果

- ◆ 伝統工芸を活用した新商品の開発 8品 透かし彫りプレート、水組木工スツール他（R2実績）
- ◆ 伝統工芸を活用した商品の販売額 700千円 → 960千円（R2実績）※対前比137%
- ◆ 木材加工等における雇用数 1人 → 3人（R3実績）

取組のポイント

- ◆ 貴重な地域産広葉樹材を、チップ・燃料材以外の活用を目指し、付加価値を高めた商品の開発及び受注品の製作
- ◆ 伐採-製材-加工-販売を地域内で完結させるため、技術者も養成しながらの6次産業化の体制づくりの取組み

地区の概要

- ◆ 位置  
島根県浜田市 (旧安城村)



- ◆ 活用した地域資源  
地域産広葉樹 (ホオ、ブナ、ミズメ、ナラ、トチ等)

- ◆ 事業実施主体  
浜田地域広葉樹活用協議会

- ◆ 主な取組団体等  
(公財) 島根県西部山村振興財団

- ◆ 事業実施期間  
R1~R3

取組の特色

地域資源の調査や付加価値向上等の取組

- ◆ 性質・特性の異なる様々な地域産広葉樹材を製材・乾燥。板材の塗装 (色別、オイル、自然塗料等) のサンプリング試験を実施
- ◆ これら取組に必要な木材加工に係る技術者養成も実施



【広葉樹の人工乾燥】



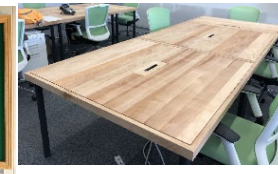
【板材塗装試験】

地域資源の消費拡大や販売促進等の取組

- ◆ 職人的な高度な技術と時代に応じたデザインを活かした商品開発・製造・販売
  - ◇ 学校備品受注製品
  - ◇ オフィス家具
  - ◇ フローリング、壁材等インテリア用木製タイル



【受注品：卒業写真額】



【オフィス家具】



【タイル製品】

取組の成果

- ◆ 広葉樹を活用した新商品の開発 9品 (木製タイル製品、オフィス家具、フローリング等)
- ◆ 協議会における製品の販売額 0円 (H30実績) → 3,917千円 (R3実績)
- ◆ 協議会における木工職の雇用数 0人 → 3人 (島根県西部山村振興財団)

## 取組のポイント

- ◆これまで活用されていない、または有料で処分していた未利用木材を販売・利用する体制（那賀町版「木の駅」など）づくりに取り組んだことで資源が循環し、新商品の開発や雇用の確保などに繋がった。
- ◆開発した商品がウッドデザイン賞などを多数受賞。山の恵みマッチング商談会では、アウトドア総合メーカーと商談が成約し、同社通販サイトへの商品掲載及び同社運営のキャンプ場へ導入する食器類の共同開発に繋がった。

## 地区の概要

- ◆ 位置  
徳島県那賀郡那賀町



- ◆ 活用した地域資源  
木頭すぎ、未利用材
- ◆ 事業実施主体  
木頭すぎバイオマス利活用推進協議会
- ◆ 主な取組団体等  
森林組合、町、林業関係団体
- ◆ 事業実施期間  
H27～H29

## 取組の特色

### 地域資源の調査や付加価値向上等の取組

- ◆那賀町版「木の駅」プロジェクトでは、山林所有者が集積場まで運搬した木材を協議会（現在は森林組合）が買い取り、町内の木材加工業者に販売し、製品に活用することを推進
- ◆地域ブランド材である「木頭杉」を職人が丁寧に加工し、美しい木目を活かした商品や食品衛生法に適合し耐久性のある塗料を用いた安全・安心で長期使用が可能な付加価値のある商品を製作



【木の駅に集まる未利用材】

### 地域資源の消費拡大や販売促進等の取組

- ◆ウッドデザイン賞入賞を伴い、環境に配慮した製品が集まる「エコプロ2017」への出展等により、一連の製品の評価が高まった
- ◆山の恵みマッチング商談会において、(株)モンベルと成約し同社通販サイトへの商品掲載や木製食器の共同開発など販路を拡大



【エコプロ出展】  
（木頭杉サーフボード）



【那賀町産「木頭杉」  
使ったBBQプレート】

## 取組の成果

- ◆地域材（木頭すぎ）を活用した新商品の開発：10品（木粉簡易トイレ、サーフボード等）
- ◆ウッドデザイン賞やクールジャパンアワード2019を受賞するなどの、高評価が製品人気を後押し
- ◆木製食器類は、アウトドア総合メーカーの運営するキャンプ場への導入に向け共同開発を開始